

第12次労働災害防止推進計画（12次防）の進捗状況（h29.4）

平塚労働基準監督署

平塚労働基準監督署は、厚生労働大臣が定めた第12次労働災害防止計画を踏まえて、各種労働災害防止対策に取り組んでいます。

計画期間

平成25年度から平成29年度(5か年計画)

計画の全体目標

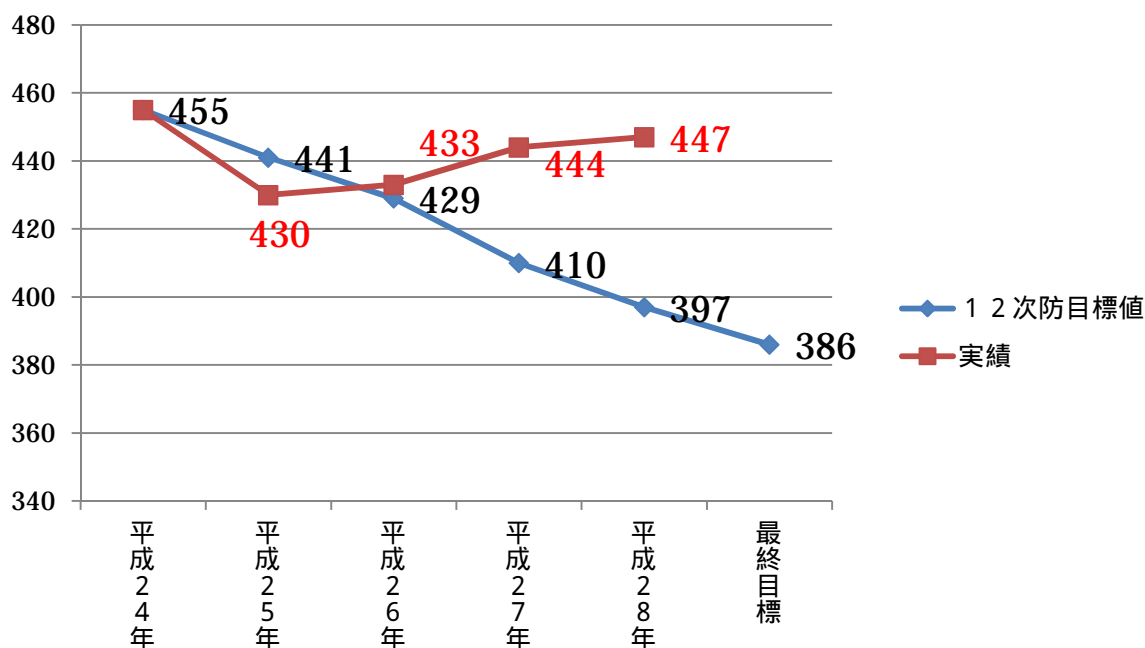
- ・ 計画期間中の死亡災害0人
- ・ 平成29年の全業種における休業4日以上死傷者数386人以下（平成24年と比較して15%以上減少）

計画4年目の平成28年における平塚労働基準監督署管内の労働災害発生状況は以下のとおりでした。

死亡災害

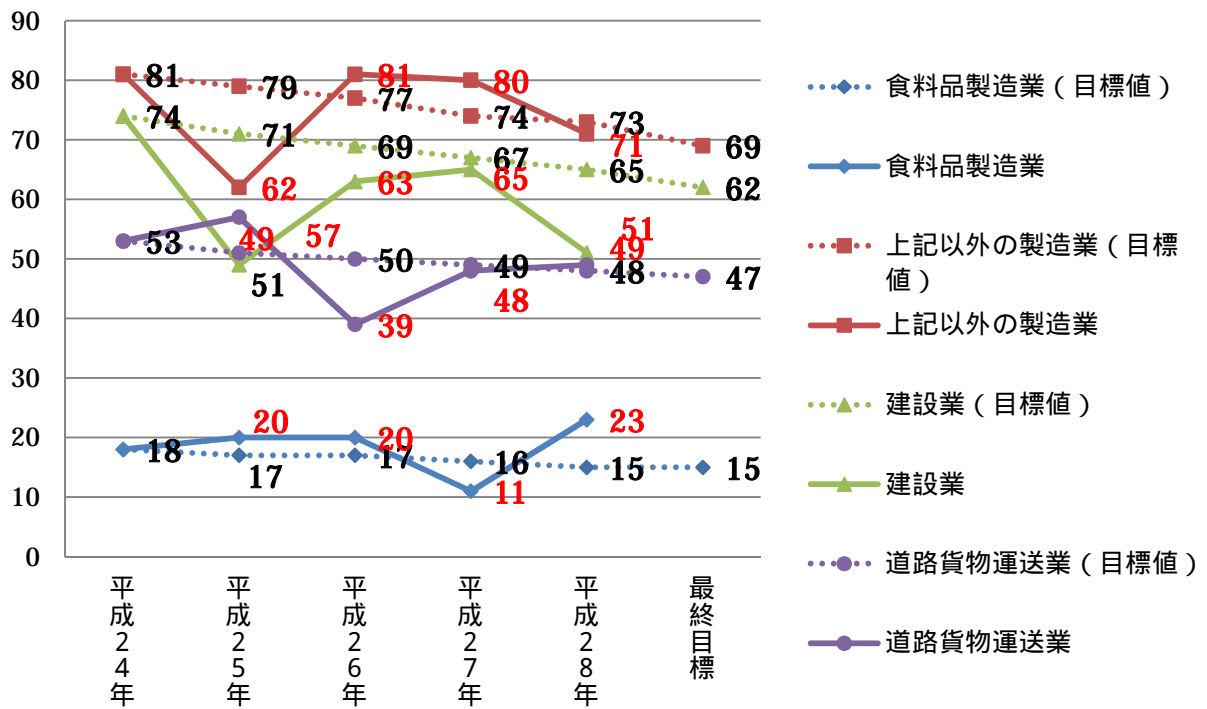
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
目標	0	0	0	0	0	0
実績	0	1	2	0	1	3

12次防中間実績



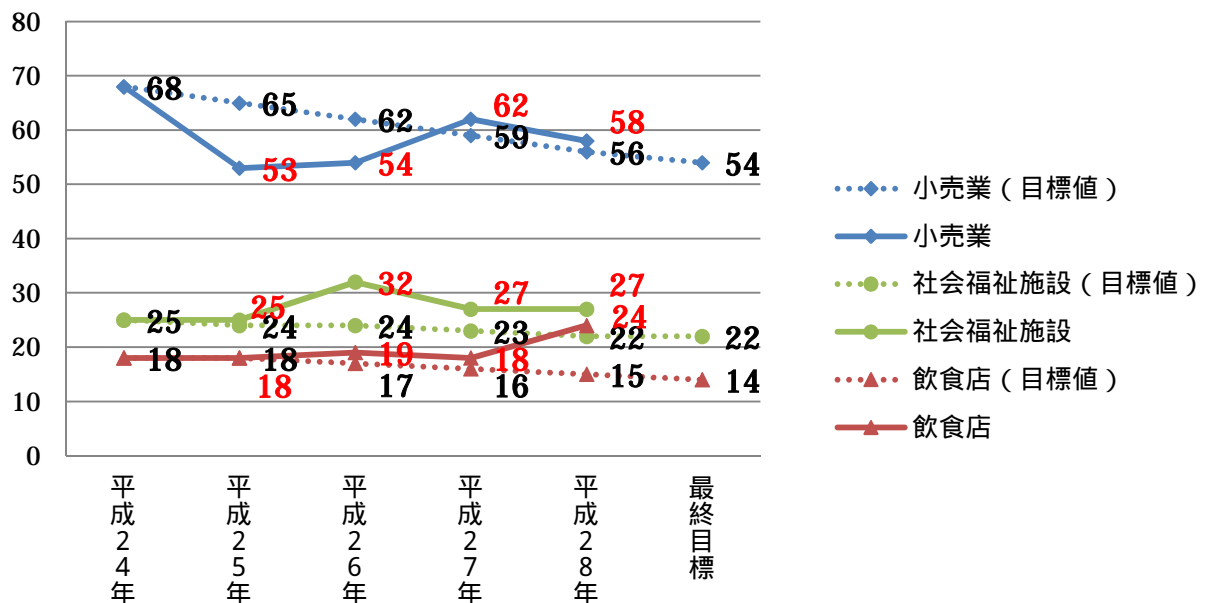
平成28年の休業4日以上労働災害による死傷者数は447人と、前年より3人（0.7%）増加し、同年の目標値である397人は達成できませんでした。

重点業種別目標値及び平成28年実績（1）



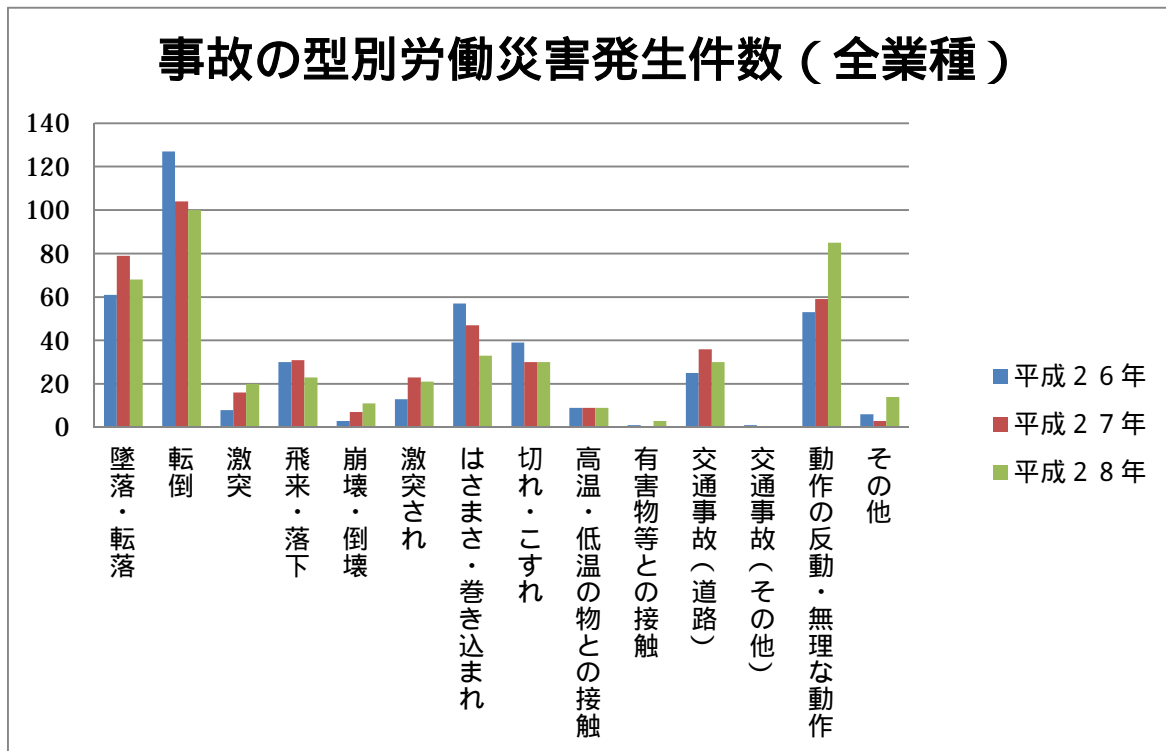
第三次産業以外の重点業種（製造業・建設業・運送業等）は、製造業、建設業は昨年から減少し、目標値も達成しましたが、食料品製造業は昨年から急増しました。道路貨物運送業はほぼ横ばいでした。

重点業種別目標値及び平成28年実績（2）

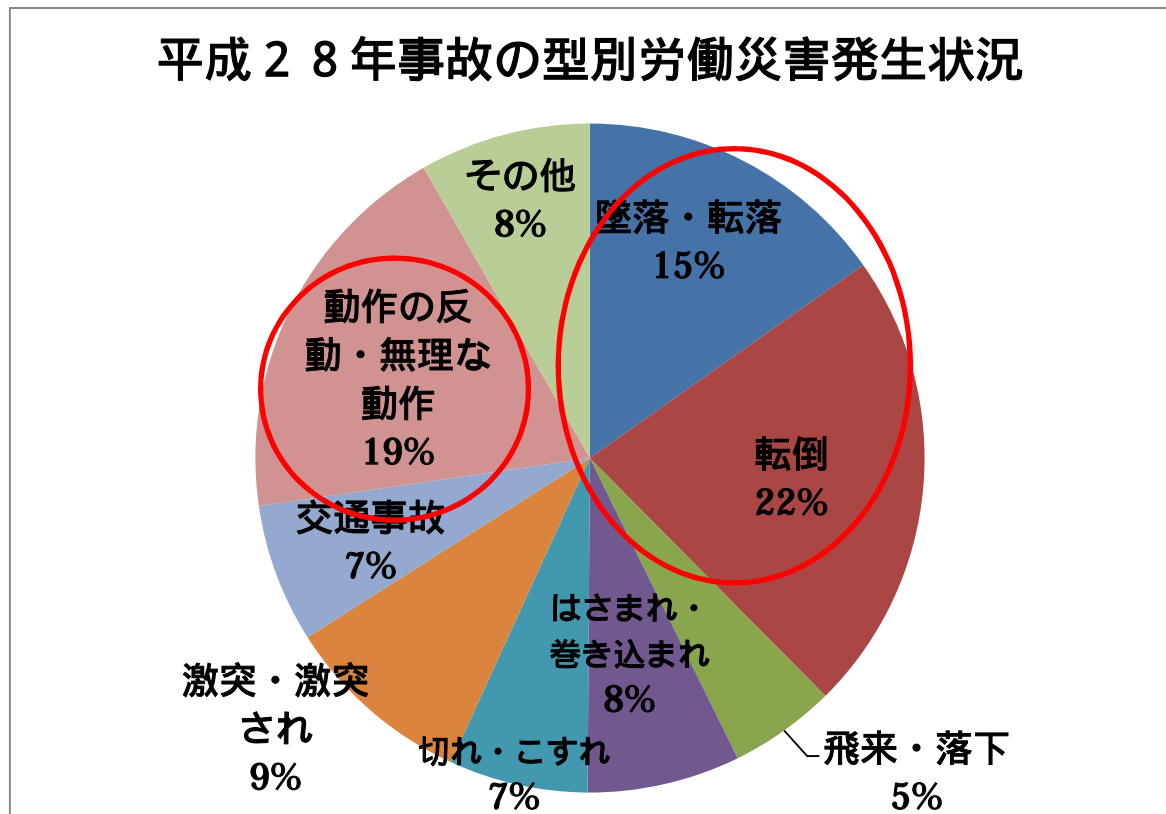


第三次産業の重点業種（小売業・社会福祉施設・飲食業）は、小売業が前年から減少しましたが、社会福祉施設は横ばいで、飲食店は急増し、目標値に対しては全て達成できませんでした。

事故の型別労働災害発生状況

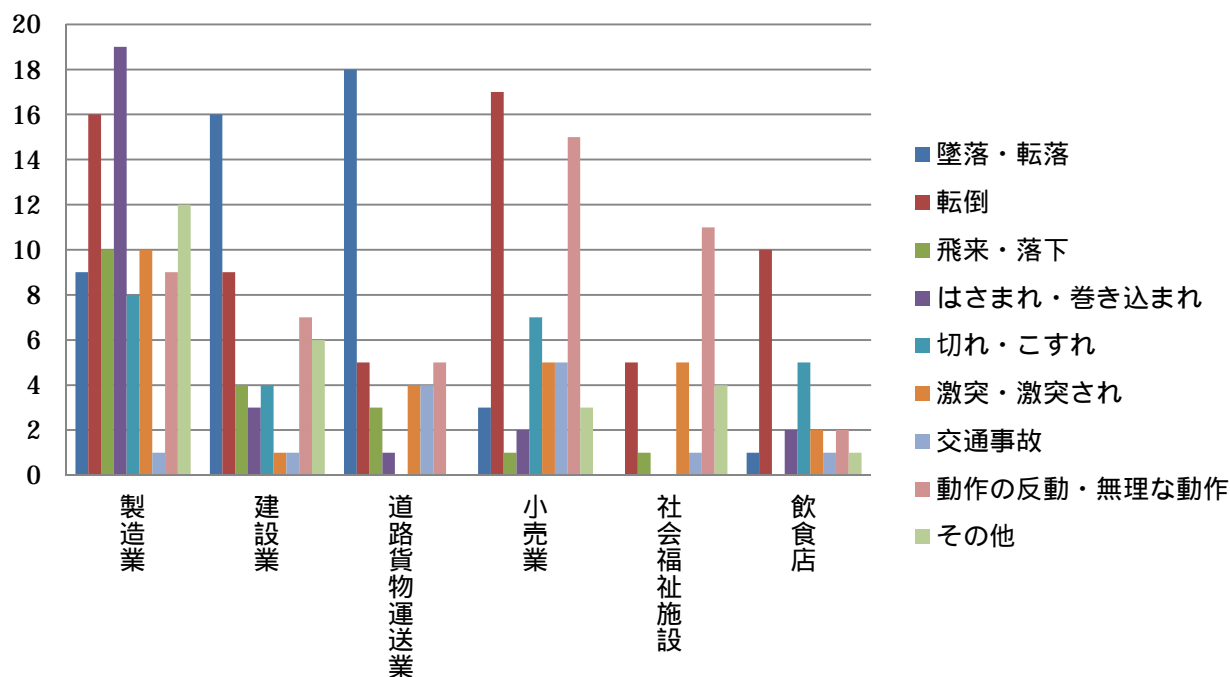


平成27年と比較して平成28年は「墜落・転落」、「転倒」は減少しましたが、「動作の反動・無理な動作」が増加しました。



「墜落・転落」と「転倒」で全体の約40%で、「動作の反動・無理な動作」が約20%となっています。

平成28年重点業種別・事故の型別発生状況



製造業では機械設備等による「はさまれ・巻き込まれ」、建設業では高所作業における「墜落・転落」災害が最も多かったほか、道路貨物運送業は「墜落・転落」が急増しました。小売業、社会福祉施設では腰痛等の「動作の反動・無理な動作」が多く発生しました。また「転倒」は全業種で非常に多く発生しております。

厚生労働省と労働災害防止団体では、転倒災害を撲滅するため「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

STOP! 転倒災害 プロジェクト

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
「STOP! 転倒災害プロジェクト」

STOP! 転倒

検索



誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するために
神奈川労働局 第12次労働災害防止推進計画期間中!